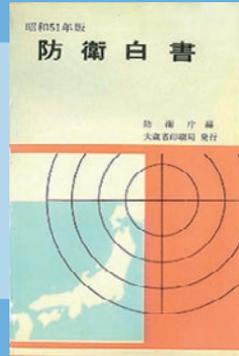


昭和45(1970)年



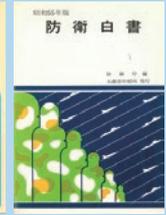
- 防衛白書初の刊行
- 中曽根防衛庁長官(当時)の「国の防衛には、何よりも国民の理解と積極的な支持、協力が不可欠」という信念のもと作成された。
- 総ページ数94ページ

昭和51(1976)年～



- 第2回目の刊行
- 初版に比べ内容が充実。総ページ数は174ページへ
- 白書の構成は現白書とほぼ同じ
- 英語版も含め、以後毎年刊行
- 平成11年までA5版のサイズは維持するも平成11年版はページ数が498ページまで増加

防衛年表開始



昭和52年版では写真はなく、イラストを駆使(下は陸自の説明にて用いられたもの)



特集

3

防衛白書 50年の 歩み

1970(昭和45)年、防衛白書が初めて刊行され、1976(昭和51)年以降毎年刊行されています。今年で防衛白書刊行50周年となります。防衛白書刊行の目的は、わが国防衛の現状とその課題およびその取組について広く内外への周知を図り、その理解を得ることにあります。その目的を果たすため、防衛白書をより多くの国民の皆さまの手に取っていただけるよう、様々な工夫を凝らしてきました。防衛白書はこれからも分かりやすさ、読みやすさ、使いやすさを追求し、防衛省・自衛隊に対する理解を得られるよう努めてまいります。

ココをチェック!

令和2(2020)年

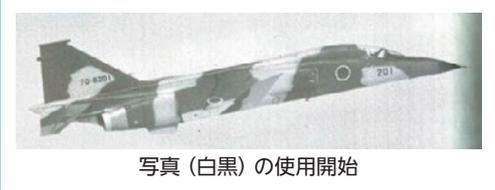


- 国内外の様々な場面において活躍する自衛隊員約50名の声を紹介(昨年の約2倍)
- QRコードですぐに再生可能な約50の関連動画を白書内に配置!



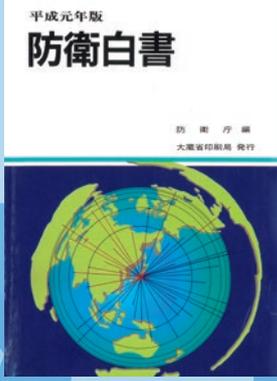
令和

平成元(1989)年～



写真(白黒)の使用開始

右は防衛記念章制度発足に関するコラム



平成

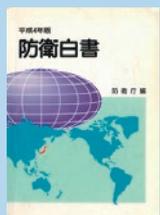
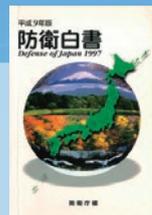


図表のカラー化、囲み記事(現在のコラム)開始

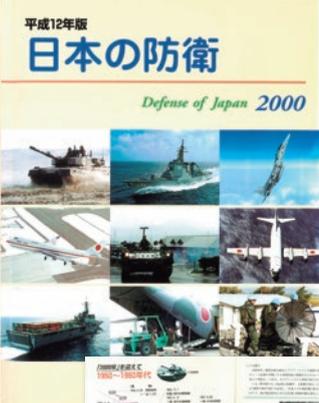


昭和58年版では写真がカラー化

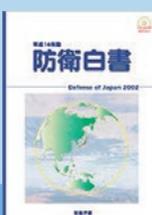
CD-ROM添付
(~2002(平成14)年)



平成12(2000)年～



- A4版化し見やすい白書へ
- 表紙に装備品の画像を使用するなど、全体を通してビジュアル化
- 巻頭に特集の初登場



白書初の特集「2000年を迎えて」が作成された。

平成15(2003)年



- ダイジェスト掲載開始
- コラムに隊員自身のボイス開始
- 防衛省HPに掲載開始

コンパクト版刊行
(~2009(平成21)年)



巻頭にダイジェスト登場。ダイジェストを読めば、白書全体の概要が分かるように。



スマートフォン版作成開始



電子書籍化開始



TOPICS
「防衛この1年」掲載

